

優先交渉権者選定基準 別紙2 審査事項及び評価視点【一覧】

審査事項	評価視点	配点	主な対応様式
<b>I 事業計画に関する事項</b>			
(1)事業計画 事業方針 実施体制  コンプライアンス	・事業目的の理解 ・明確な役割分担・合理的な責任分担 ・実績 ・考え方の明確性、対応策の具体性	50	100 提案書類(事業計画に関する事項)
(2)事業遂行能力 PFI事業収支計画 PFI事業資金調達計画 PFI事業リスク管理方針	・合理的で無理のない計画 ・確実性 ・リスク認識の適切さ、リスク管理策の具体性・合理性	50	
<b>II 施設計画に関する事項</b>			
(1)既存施設解体撤去・杭撤去計画 既存施設解体撤去・杭撤去計画	・効率的かつ確実に解体撤去・杭撤去を行う工夫 ・周辺施設への配慮	30	400 提案書類(施設計画に関する事項)、提案書類(設計図書)
(2)施設配置計画 配置計画  敷地内動線  ゾーニング(芸術文化ホール・民間施設を含むエリア全体)	・芸術文化ホールとの一体性 ・周辺道路からのアクセスのしやすさ ・利用者や運営者の利便性 ・動線の明確性(観客・出演者・搬入など) ・にぎわいの創出、エリア特性への配慮	60	
(3)意匠計画 デザイン性 景観配慮	・北口の顔となり市民に親しまれるデザイン ・周辺施設と調和し、景観に配慮したデザイン	60	
(4)諸室計画 諸室配置計画 多様な演目への対応  快適性・利便性 ユニバーサルデザイン 安全性	・効率性、利便性 ・多様な演目や使い方へ対応できる諸室計画の工夫 ・アイデア次第で使い方に広がりのある空間とする工夫 (例:舞台袖として活用できる空間対応のアイデア) ・観客や施設利用者、施設管理者の快適性・利便性への配慮 ・施設特性の理解・具体性 ・施設利用者、施設管理者に対する安全面の配慮	100	
(5)構造計画 防災対策 防音・防振動対策	・具体性、実現性 ・多様な利用方法の想定、敷地特性の理解を踏まえた効果的対策	30	
(6)設備計画 多様な演目への対応  メンテナンスの容易性 省エネルギー化・ランニングコスト低減 安全性	・多様な演目や使い方へ対応できる設備計画の工夫 ・アイデア次第で使い方に広がりのある空間とする工夫 ・将来の使い方の変化に対応したメンテナンス性 ・省エネルギー化、ランニングコスト低減の工夫 ・施設利用者、施設管理者に対する安全面の配慮	60	
(7)外構 植栽、舗装、サイン計画等	・芸術文化ホールとの一体性の配慮 ・利用者や運営者のわかりやすさ、快適性や美観への配慮	30	
(8)工程計画 周辺施設への配慮 工程計画(民間付帯事業を含む)	・効果的な騒音・振動対策、安全対策 ・効率的・効果的な工程計画 ・工期短縮の工夫	30	
<b>III 維持管理に関する事項</b>			
(1)業務計画 業務実施方針 モニタリング	・市や市の指定する者との連携に関する工夫 ・モニタリング方法の具体性・実効性	50	100 提案書類(維持管理に関する事項)
(2)各業務に係る具体的提案 各業務に係る具体的提案	・市民サービス向上、市の財政負担軽減に資する工夫	50	
<b>IV 民間付帯事業に関する事項</b>			
(1)事業内容 事業内容	・にぎわい創出やまちの活性化に資するアイデアとその根拠 ・芸術文化ホール・中規模ホールとの相乗効果	50	150 提案書類(民間付帯事業に関する事項)、提案書類(設計図書)
(2)事業遂行能力 実施体制 資金調達計画 リスク管理方針(民間施設供用開始後も含む)	・実現性、合理性 ・資金調達の確実性、予定どおり調達できない場合の担保 ・リスク認識の適切さ、リスク管理策の具体性・合理性	50	
(3)施設計画 土地利用計画	・具体性、実現性 ・売買面積の多寡、敷地形状 ・エリア特性への配慮	50	
<b>V 事業効果に関する事項</b>			
(1)地域経済への貢献	・地元企業活用、地元雇用、地域産材の使用	40	50 提案書類(事業計画に関する事項)
(2)独自の提案	・その他特に評価すべき提案	10	
合計		800	800